

とうきょうすくわくプログラム活動報告書

園名	志茂つくし保育園
活動日時	2025年12月19日(金)
クラス名	ひまわり組(2歳児)
年間テーマ	音

1. 活動テーマ

<テーマ>

紙コップビリビリ

<テーマ設定理由(子どもの姿)>

お話している声も音の一つ。自分の声が変わったら？  
お話が上手になり、声量の調整ができるようになった為。

2. 活動スケジュール

- ・2歳児クラスで行う(3人)
- ・保育者が使い方を説明、注意事項を伝える ・紙コップビリビリで歌を歌う

3. 環境をデザインする(活動のために準備した素材や道具、環境設定)

紙コップ、輪ゴム、アルミホイル、マスキングテープ  
絵本「どんなおと？」

4. 探究活動の実践

<活動内容>

導入として絵本を読みきかせし、どんな音が聞き自分で考え答える。いろいろな音があることを知り興味を広げる。紙コップビリビリの使い方を保育者が見せる。紙コップビリビリを使って12月の歌「赤鼻のトナカイ」をみんなで歌う。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの声・姿	写真
<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の中に出てくる音を聞くと車は「ブブー」電車は「ガタンゴトン」雷の音は「怖い」と気持ちを表現する姿があった。</li> <li>・保育者が「われわれは宇宙人です」と言うとビックリしてビリビリの声に笑う子ども達。</li> <li>・友だちと向き合ってビリビリボイスを楽しむ姿があった。</li> <li>・なぜこの音が出るのかと紙コップをのぞき込み、保育者に伝える姿があった。また、アルミホイルを破る姿もあった。</li> </ul>	  

5. 振り返り(振り返りによって得た保育者の気づき)

休みが多く、少ない人数での活動になったが子ども一人ひとりの表情や動きをしっかりとする事ができた。保育者がお手本を見せたあと、これまで聞いたことない!といった表情を見せ、やってみよう!という反応をみせてくれた。声量を調整できる2歳児クラスにちょうどよい活動になったと感じた。大きな声を出す子に圧倒されて声を出すのを躊躇ってしまう子がいたので、みんなで声を出し合うよりも一人ひとり音が出るかの確認が必要だと感じた。